

令和6年度 富士宮北高等学校第1回学校運営協議会（議事録）

1 日時 令和6年6月14日（金）午後2時00分から4時30分頃まで

2 場所 本校 小会議室

3 参加者

渡邊 昇司	静岡大学教職大学院 特任教授
犬浦 教雄	白糸・上井出学習センター長
加藤 孝明	富士宮商工会議所 経営支援課長 本校後援会長
川上 健治	富士特別支援学校富士宮分校教頭

校長（山野）、副校長（長谷川）、教頭（野澤）、事務長（鈴木道）、総務課長（佐藤れ）、教務課長（鈴木啓）、情報課長（長田）、生徒課長（多田）進路課長（杉山）、保健課長（市川）、図書・研修課長（佐藤詔）商業学科長（山田）、2学年主任（岩田）、3学年主任（関口）

4 内容

(1) 委嘱状の交付

(2) 校長挨拶

現在、校舎を改築中である。生徒は、学業を続けながら校舎改築の様子を見ることができ貴重な時に在籍している。87年の歴史・伝統を踏まえながら、本校の存続価値を出せられるように取り組んでいきたい。

(3) 出席者自己紹介

(4) 学校運営協議会制度の説明

(5) 委員長選任

委員長に渡邊委員が選出される。

(6) 授業参観・校内見学

(7) 議事（司会：渡邊委員長）

ア 校内委員の自己紹介

イ 本校のスクールミッション、スクールポリシーについて（校長）

ウ 学校経営計画について（校内委員）

◎規律・礼節、規範・帰属意識を醸成し主体的で健全な生活態度を育成する。

○諸活動に主体的に取り組むために規律を守ることが土台と考えている。

○事故が多いため交通安全教室を4月に実施した。

○夏休み前にケイタイマナー教室を行う予定。

○特別支援が必要な生徒への適切な配慮と支援に対して、適切な支援と配慮を提供できるよう取り組んでいく。

○コロナ禍で歌えなかった校歌であるが、R5年度の半ばから応援委員や吹奏楽部の協力のもと、歌えるようになっている。愛校心が深まるように指導をしている。

◎探究的な学習等を通して、自ら学ぶ態度・確かな学力を定着させ、将来社会で活躍できるグローバルリーダーを育成する。

○家庭学習時間の充実に向けて調査をしている。

○放課後の有効活用に向けて、教育課程検討委員会で検討中である。

○ICTの活用として、各教科で教科書の表示、英語科では音声の扱い等の活用により分かりやすい授業に繋がっている。

○授業参観を実施している。また、生徒アンケートを通して、授業改善に取り組んでいる。

○「総合的な探究の時間」における探究プロセスの構築と実施に向けて、校内研修等で対応している。

- ◎学んだ知識や技能を実際に活用した実践的商業教育を推進する。
- 昨年度の全商検定（三冠）の取り組みは県内トップであった。本年度は新教育課程となり昨年同様の実績は難しいが頑張らせたい。また、対外的な商業活動への参加を通して考える力を養っていききたい。

- ◎自己理解・目的意識を高め、系統的な指導を通して個に応じた進路実現支援する。
- 本校の生徒は、多様な進路であるため皆で補講を受ける形式より、生徒一人一人に応じた計画的な進路指導が行われている。

- ◎多様な活動への参加を通して、自己有用感・達成感、豊かな人間性、共生意識、社会的資質・能力を育成する。
- 広大な恵まれた環境で、運動部加入率は60%と高く、熱心に活動している。全国や東海大会出場のみならず、人間力が向上するように努めている。
- 学校行事・委員会・部活動等で分校との交流を実施している。文化祭・体育祭を通して事前に合同保健員会で顔合わせ等の研修を行い、当日の保健委員の活動を行った。
- 生徒会の生徒を中心とした校長とのランチミーティングを実施している。若者の自己肯定感が低いと言われているが、組織の中で自分の意見が成就する体験をさせたいと考えている。既に3回実施した。

- ◎外部諸機関・地域との連携や積極的な広報活動を通して、開かれた学校づくりを推進する。
- 校内防災体制の点検・整備として、毎年マンホール設置の研修を実施している。
- 学校案内を教務課が作成している。中学生向けの学校説明は年間10回以上行っている。より本校の魅力を発信できるように取り組んでいく。
- インスタを4月から検討。5月22日、生徒・保護者の同意を得て本格的に開始した。6月14日現在、投稿数73件、フォロワー数430である。
- PTA活動の活性化に向け、取り組んでいる。

- ◎教育活動を推進していくために必要な校内研修を実施し、教員の資質向上を図り、安全で信頼される学校づくりを推進する。
- 不祥事根絶に向け、コンプライアンス委員会を年3回開催している。
- 光熱水費に関して7月より特別教室に空調が設置される。メリハリある使用を呼び掛けていく。
- ◎教職員の多忙化解消に向け「業務改善」に取り組む。
- 部活動の盛んな学校で難しいが、できるところから業務の精選をしていく。
- 定期テスト監督の平準化については、教務課が監督数を数えるなど対応をしている。

エ 本校のコンプライアンス対応について（副校長）
 オ 質疑応答及び意見交換

犬浦委員

富士宮北高校のICT進展は著しい。文化祭での教職員の対応が丁寧で、生徒が主体的に活動していた点に感銘を受けた。ホームページの危機管理もしっかりしており、保護者への周知も徹底されていて安心できる。一方、ワークライフバランスにも配慮してほしい。

加藤委員

Instagramでの情報発信は素晴らしい。商工会議所の立場から、富士宮北高校の日商2級取得率の高さは採用のポイントになる。運動部の成績は分かりやすいが、資格と進路実績は分かりにくい。資格取得は夢の実現のツールとなり、情報発信が重要なので工夫が必要である。

川上委員

富士宮分校に勤務して2年目。富士宮北高校生の挨拶が良くなっていると感じている。共生共育は自然な交流を目指し、文化祭や体育祭で集団に入れない生徒への対応を検討していきたい。

渡邊委員

目標に達成している項目は次のステップに進むと良いのではないかと。自己肯定感は「総合的な探究の時間」で高まっており、これを活用してさらなる活動を促進するとよいのではないかと。いじめや不登校の件数は毎年更新されており、生徒指導は指導からサポートに変わってきている。中野信子氏によると、6月と11月はセロトニンの分泌量が下がり、いじめが起きやすい時期であるため注意が必要。